

STANDARD

特定小電力トランシーバー

FTH-80

取扱説明書

47チャンネル

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

このトランシーバーは国内専用モデルです。海外では使用できません。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いいたします。

株式会社バーテックススタンダード
国内営業部
〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8
電話：03-3719-2231

株式会社バーテックススタンダード 〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8
© 2011 VERTEX STANDARD CO., LTD. All rights reserved.



付属品

- ベルトクリップ(取付け用ビスも含む)..... 1
- アルカリ単3乾電池ケース..... 1
- 取扱説明書(本書)..... 1
- 安全上のご注意..... 1
- 保証書..... 1

お客様へ

- 防水(防滴)について
外部マイク接続時は防滴にはなりません。外部マイク接続時雨天等でご利用になる場合は、外部マイクのケーブルを伝わってトランシーバー内部に水が浸入しないようご注意ください。故障の原因となります。
本機の防水性能を永らく確保していただくために、必ずご使用前に下記の記事をご確認ください。
- キズ、劣化、汚れなどの確認
・ボタンやスイッチ類のラバー
・MICジャック、SPジャックのキャップ
・電池ケースの防水パッキン
お手入れのしかた
水、砂、形などが付いたときは、柔らかいきれいな布で拭きとってください。必ずMICジャック、SPジャックのキャップ、電池ケースを確実に閉めた状態でご確認ください。
- オーバーホールのお要請
お買い上げから1年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めいたします。また、オーバーホール後も定期的なメンテナンスをお奨めいたします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご告知ください。
- アフターサービス
①保証期間をお買い上げの日より1年です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げの日から1年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理をお引き受けします。
過失など、故障内容によっては、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。
- ②保証書は大切に保管してください。
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものととして有償扱いさせていただきますのでご了承ください。
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入されていない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店へ「お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。」

故障かな?と思ったら...

- 間違った操作をしていませんか?
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。
- ① 電源が入らない!
 - ・電池は正しく取り付けられていますか?
 - ・電池は漏れしていませんか?
 - ② 送信できない!
 - ・PTT(送信ボタン)を正しく押しえていますか?
 - ・送信専用モードがONになっていませんか?
 - ・相手が発信中ではありませんか?
 - ・音量を調整しているときは、送信できません。
 - ・外部マイク使用の場合、きちんと最後まで差し込まれていますか?
 - ③ 通話できない!
 - ・相手と同じ通話モード(ノーマルモード、グループモード)に設定していますか?
 - ・相手と同じチャンネルに設定していますか?
 - ・相手と同じグループ番号(またはDCSコード)に設定していますか?
 - ・プライベートモードの場合、送信側・受信側ともプライベートモードの設定がされていますか?
 - ・相手の距離が離れすぎていませんか?
 - ④ こちらの声が、相手側で小さく聞こえる!
 - ・マイクから音を聞いていませんか?
 - ・マイクから元音が漏れていませんか?
 - ・音量は適正ですか?
 - ⑤ 勝手に電源が切れる!
 - ・オートパワーセーブ機能が設定されていますか?
 - ・電池が消耗していませんか?
 - ⑥ グループモードで通話中に他の人の通話が聞こえる!
 - ・モニター機能になっていませんか?
 - ・電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切り、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
 - ・グループモードで通話中に他の人の通話が聞こえる場合があります。
 - ・グループ番号を変更してください。

正常に動かないとき

- スイッチを押しても反応しないときや、故障かな?と思ったら...の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。
- リセットを行うと、登録した内容をすべて消され、工場出荷時の「初期値」に戻ります。
 - ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② ▲ボタン、▼ボタン、MODE(On)ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ 「ピッ」と鳴り、オートリセットされます。

定 格

送受信周波数: 01ch~11ch: 422.0500MHz ~ 422.1750MHz
(12.5kHzステップ)
1ch ~ 9ch: 422.2000MHz ~ 422.3000MHz
中継装置使用時:
12ch~29ch: 送信 440.0250MHz ~ 440.2375MHz
受信 421.5750MHz ~ 421.7875MHz
10ch~18ch: 送信 440.2625MHz ~ 440.3625MHz
受信 421.8125MHz ~ 421.9125MHz

電 池 型 式: F3E
通 信 方 式: シンプレックス方式およびセミデュプレックス方式
送 信 出 力: 10mW/1mW(中継チャンネル 12ch ~ 29ch以下(電波法施行規則第6条適合))
受 信 感 度: -70dBμV以下(φ 12dB SINAD)
低 周 波 出 力: 400mW以上(φ 8 Ω、THD10%)電源電圧 3.7V 時
動作温度範囲: -10℃~+50℃
定 格 電 圧: DC 3.2V
動作電圧範囲: DC 2.2V ~ 4.5V
本 体 寸 法: 99.5 × 55 × 30mm(高さ×幅×奥行き: アンテナおよび突起部を含まず)
本 体 重 量: 約 120g(アルカリ単3乾電池を含まず)
この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。 ※ RoHS 指令対応

オプション

- ① リチウムイオン電池パック: BN60
- ② リチウムイオン電池ケース: JCPN0002
- ③ シングル充電器(ACアダプタ付): JPCPN0003
- ④ 6連型充電器(ACアダプタ付): JPCPN0004
- ⑤ スピーカマイク: JSPMN0001
- ⑥ プームマイクイヤホン: JSPRN0003
- ⑦ 小型タイプマイク&イヤホン: JSPRN0001
- ⑧ タイプマイク&イヤホン(マイク感度切替スイッチ): JSPRN0002

セットメニューで設定する便利な使いかた

PTT(送信ボタン)を押さずに送信する

- PTT(送信ボタン)を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を入れます。
 - ② MODE(On)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ ▲ボタンが表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、「Acn」にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- ※ VOX機能を行う前の状態に戻ります。
- VOXの感度や遅延時間、セットメニューで細かく設定することができます。詳しくは本書の「セットメニューによる機能設定」をご確認ください。

空きチャンネルを自動で探す

- PTT(送信ボタン)を押すと、そのとき空いているチャンネルに設定され(相手のトランシーバーも、自動的に同じチャンネルに設定されます)交信することができます。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(On)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ ▲ボタンが表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、「Acn」にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- この状態がPTT(送信ボタン)を約1.5秒以上押し続けると、相手と交信することができます。
- VOX機能は同時にご利用することはできません。

自動でマイクの感度を切替える

- 周囲の騒音の状態に応じて、自動的に適切なマイク感度に切替わります。騒音の多い場所と静かな場所を行き来するよう場合には便利な機能です。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(On)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ ▲ボタンが表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、「ALn」にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- ※ VOX機能は同時にご利用することはできません。

セットメニューによる機能設定一覧

- 本機には22種類のセットメニューがあります。
各メニューの設定を変更するときは次の手順を行います。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(On)ボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
- セットメニューが表示されます。
- ③ MODE(On)ボタンを押すたびに、セットメニューが切り替わります。
 - ④ 設定したいメニューを選択します。
 - ⑤ ▲または▼ボタンを押して、点滅している設定項目を選択します。
 - ⑥ PTT(送信ボタン)を押します。
- 設定メニューの設定が完了します。
- PTT(送信ボタン)以外に、電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切っても、セットメニューの設定を完了することができます。

メニュー番号	メニュー名	機能説明	選択項目	初期値
GP	グループコード(01~39)の選択	グループコードの番号を選択します。	01~39	01
Ph	PTT(送信)機能のON/OFF	ONにすると、PTT(送信ボタン)を一押しすることにより、再度PTT(送信ボタン)を押すまで、送信状態が続きません。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
Rc	オートチャンネル検索のON/OFF	ONにすると、PTT(送信ボタン)を押すたびに、最も空いているチャンネルを自動で探し、相手と交信することができます(相手のトランシーバーも、オートチャンネル検索機能はONにしてください)。	OFF/ON	OFF
RL	自動マイク感度切替機能のON/OFF	ONにすると、周囲の騒音に応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
EG	外部マイク感度切替機能	オプションの外部マイクを使用する際、マイク感度を3段階で調整することができます。	1/2/3	2
oc	VOX機能のON/OFF	VOXにすると、PTT(送信ボタン)を押すことなく、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。 ※ PTT(送信ボタン)を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になります。	OFF/ON	OFF
oL	VOX感度調整	VOX機能を使用時、送受信状態になる時の感度を設定します。周囲の騒音が大きく、話したい以外の状態が状況にある場合は、感度を下げて(感度を小さく)してください。	1~15	8
or	VOX遅延時間調整	VOX機能を使用時、話をやめてから受信状態になるまでの時間を、0秒(設定値「0」)~5秒(設定値「5」)の間で調整することができます。	0~50	5 (約0.5秒)
ro	送信専用モードのON/OFF	送信専用モードのON/OFFを設定すると、送信専用モードのとき、VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
bP	スピークのON/OFF	スピークのON/OFFボタンを押し込むことで、設定して電子音で鳴ります。この音が鳴らないときはOFFに設定してください。	ON/OFF	ON

送信を禁止して受信専用として使用する

- ガイドシステム機能などを使用するとき、PTT(送信ボタン)を押しても「ブー...」と警告音が鳴り、ディスプレイに「Er」と表示されて、送信できないようにすることができます。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(On)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ ▲ボタンが表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、「Ecn」にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- ※ VOX機能は同時にご利用することはできません。

LEDインジケータを点灯しないようにする

- 送信時に「赤色」、受信時時に「緑色」に点灯するLEDインジケータを、点灯しないようにすることができます。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② MODE(On)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③ ▲ボタンが表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度か押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、「Lcn」にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- ※ VOX機能は同時にご利用することはできません。

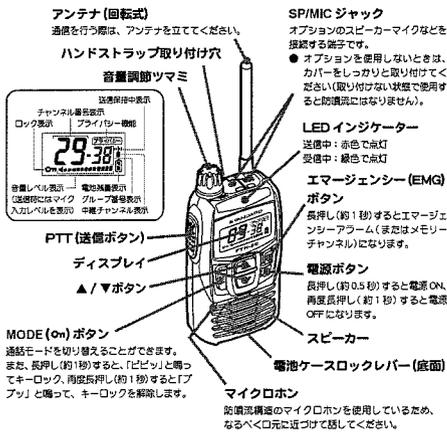
チャンネルの表示方法を切替える

- チャンネルの表示方法を、下記の2通りから選択することができます。
- チャンネル表示方法が異なるトランシーバーと交信する場合、相手のチャンネル表示方法を合わせる必要があります。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(On)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ ▲ボタンが表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、希望の表示方法を選択します。
- 47に設定: 01=02=03=04=05=...=15=16=17=18=19=20
01に設定: 1=2=3=...=7=8=9=10=11=12=13=14=15=16=17=18=19=20=21=22
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- ※ 設定操作を行う前の状態に戻ります。

メニュー番号	メニュー名	機能説明	選択項目	初期値
bP	スピークのON/OFF	スピークのON/OFFボタンを押し込むことで、設定して電子音で鳴ります。この音が鳴らないときはOFFに設定してください。	ON/OFF	ON
ch	チャンネル表示の切替	チャンネルの表示を、01~47の表示(47に設定した場合は、または1~15、01~10)の表示(01に設定した場合は)に切替えることができます。	8/47	8
Lc	LEDインジケータのON/OFF	ONにすると、送信時にLEDインジケータが点灯しないようになります。	ON/OFF	ON
LP	通話中LED点灯機能	ONにすると、相手が発しているときに点灯する「ワー」というツインLEDを点灯し、相手の音声を聞き取りやすくします(相手のトランシーバーも、ツインLED機能はONにしてください)。	2/OFF	2
cP	通話中LED点灯機能	ONにすると、相手が発しているときに点灯する「ワー」というツインLEDを点灯し、相手の音声を聞き取りやすくします(相手のトランシーバーも、ツインLED機能はONにしてください)。	OFF/ON	OFF
hc	各種切替機能	ONにすると、機能が調整された状態になります。	OFF/ON	OFF
RP	オートパワーセーブのON/OFF	ONにすると、2時間何も操作しないとき電源が自動的にオフになります。1分間は「ピッ」と警告音が鳴り、電源が再び付きます。	OFF/ON	OFF
cl	グループ番号切替	グループ番号切替機能は「グループ」ボタンを押すたびに、グループ番号が切り替わります。グループ番号を「グループ」ボタンを押すたびに、グループ番号が切り替わります。	1~5	1
oL	数字 電子音	1 000 2 000 3 000 4 000 5 000	1~5	1
Po	PTT(送信)機能のON/OFF	ONにすると、PTT(送信ボタン)を押すたびに、再度PTT(送信ボタン)を押すまで、送信状態が続きません。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	ON/OFF	ON
Ec	外部マイク感度切替機能	オプションの外部マイクを使用する際、マイク感度を3段階で調整することができます。	1/2	1
dP	送信専用モードのON/OFF	送信専用モードのON/OFFを設定すると、送信専用モードのとき、VOX機能と同時に利用することはできません。	1/10	10
cb	チャンネル検索のON/OFF	ONにすると、PTT(送信ボタン)を押すたびに、最も空いているチャンネルを自動で探し、相手と交信することができます(相手のトランシーバーも、オートチャンネル検索機能はONにしてください)。	OFF/ON	OFF

基本的な使いかた

各部のなまえ



基本的な通話のしかた

本機には、状況に応じて選べる3つの通話方式(ノーマルモード、グループモード、ブライバシーモード)があります。通話したい相手のモードでも同じで、ここでは、基本となるノーマルモードの通話方法を説明し、グループモードについては、右記の「グループモードの設定」を行い、ブライバシーモードについては、右記の「ブライバシーモードの設定」を行ってから、下記の方法で通話してください。

① 電源を入れる
電源ボタンを長押し(約0.5秒)すると、電源が入ります。
「ピッ」と電子音が鳴ります。

② チャンネルをあわせる
▲または▼ボタンを押して、相手と同じチャンネルにします。

音量調節ツマミ

LEDインジケータ
送信中：赤色で点灯
受信中：緑色で点灯

チャンネル
相手と同じチャンネルに合わせる

マイクホン

③ 押しながら話す
PTT(送信ボタン)を押しながらマイクホンに向かって話します。

●ディスプレイに「m」が表示されます。
●LEDインジケータが「赤」に点灯します。
●PTT(送信ボタン)を押すと、相手の通話を聞くことができます。
●前後両面のマイクホンを使用しているため、なるべく元に戻すにつけてください。

●相手の声を聞きながら、音量調節ツマミで音量を調節してください。
●通話して送受信が終了するまで、送受信が自動的に停止します。
●送受信が自動的に停止しないまま、ディスプレイに相手からの通話表示が、送受信が終了する10秒間には、「ピピッ」と電子音が鳴ります。
●また、送受信が自動的に停止しないまま、送受信が自動的に停止しないまま、「ブツブツブツブツ・・・」と警告音が鳴り続けます。

●相手の通話を受話しているときは、送受信が止まります。
LEDインジケータが緑色に点灯しているときは、PTT(送信ボタン)を押しても「ブツブツブツブツ・・・」と警告音が鳴り続けます。送受信が止まります。

ボタンをロックする

送受信ボタンに覆れる、チャンネルなどが変わらないようにすることができます。

●ボタンをロックすると、セットメニューによる設定の変更やリセットもできなくなります。これらの操作は、ロックを解除してから行ってください。

ボタンをロックするには
MODE(On)ボタンを長押し(約1秒)すると、「ピピッ」と鳴ってボタンがロックされます。
「On」が点灯します。
再度MODE(On)ボタンを長押し(約1秒)すると、「ブツ」と鳴ってボタンのロックが解除されます。
「On」が消えます。

ベルトクリップの取り外し方/向きの変更かた

ベルトクリップは、取り外したり、向きを変えて取り付けることができます。
ベルトクリップを外すときは、ネジをコインやドライバーを使用し外してください。
ベルトクリップを取り外した場合は、使用中に外れることがないように、ネジをしっかり取り付けてください。

向きを変えて取り付けることもできます。

使用時間の目安

使用できる時間目安は目安のとおりです。電圧変動はアイコン表示で知らせます。

フル充電
● 約40時間
● 約90時間
● 約24時間
● 約38時間

※ 6分送受、6分受信、48秒待機時の測定条件となります。
上記の使用時間は目安ですので、実際に使用する際は、使用し方や充電の温度などによって異なります。

電圧変動はアイコン表示で知らせます。
● 十分使えます。
● 少なくなりました。
● 残りわずかです。
● さらにアルカリ乾電池を交換してください。
(すでにリチウムイオン電池パック「NB07」を装着してください。)

一時的にモニターをする

受信音の状態で、一時的にモニターする機能です。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② ▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
モニターを解除するには、
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② 再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

便利な使いかた

一時的にモニターをする

受信音の状態で、一時的にモニターする機能です。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② ▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
モニターを解除するには、
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② 再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

ブライバシーモードの設定

ブライバシーモードに設定していない人は、通話内容を聞き取れないようになります。ブライバシーモードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができます。

● 相手チャンネルでブライバシーモードを動作させたトランシーバーでは、通話内容が聞こえなくなる場合がありますので、電源再充電のマイクホンを使用してください。

● トランシーバー機能付トランシーバーでも、機種の関係で、交差できない場合があります。

① 「ブライバシー」が点灯するまでMODE(On)ボタンを何度か押します。
② 「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

ノーマル+ブライバシーモード グループ+ブライバシーモード

便利な使いかた

通話モードの切り替えかた

通話を行うモード(通話モード)として、次の3通りがあります。状況に応じて使い分けしてください。

ノーマルモード ● 他のグループの通話が可能になる心配がないとき。
グループモード ● 他のグループの通話が可能にせずわいわいとき。
ブライバシーモード ● 他人に通話を聞かれないようにするとき。

通話モードを切り替えるには
MODE(On)ボタンを押すたびにモードが切り替わります。初期値は「ノーマルモード」に設定されています。

09 ch 09-01 09 ch 09-01

ノーマルモード グループモード ノーマル ブライバシー

ブライバシーモード ノーマル ブライバシーモード

グループモードの設定

「同じチャンネルで他のグループの通話が可能にできない」そんな時に、あらかじめ同じグループ番号に設定しておくことで仲間同士の音声だけが聞こえます。

グループモードにする、送受信3回の「ブツ」音をカットして聞きやすくなります。

オプションのタビタビマイク&イヤホン、ブームマイク&イヤホンを使用する場合は、グループモードに設定することをおすすめします(詳細は「セットメニューによる機能設定」の「PTTディスプレイ」も参照ください)。

① グループ番号を設定する
② グループモードを使用することになります(中継機と同じグループ番号にあわせてください)。
③ 指定の中継機の使用が可能です。

① MODE(On)ボタンを押す
グループモードにします。

② 電源を切る
電源ボタンを長押し(約1秒)すると、電源が切れます。

③ MODE(On)ボタンを押しながら電源を入れる
▲または▼ボタンを押して「01～36」の中から任意のグループ番号を選択します。

④ グループ番号を選ぶ

⑤ PTT(送信ボタン)を押す
セットメニューの設定が終了します。左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。他人の通話が聞こえる場合は、グループ番号を変更してください。

グループモードの設定

「同じチャンネルで他のグループの通話が可能にできない」そんな時に、あらかじめ同じグループ番号に設定しておくことで仲間同士の音声だけが聞こえます。

グループモードにする、送受信3回の「ブツ」音をカットして聞きやすくなります。

オプションのタビタビマイク&イヤホン、ブームマイク&イヤホンを使用する場合は、グループモードに設定することをおすすめします(詳細は「セットメニューによる機能設定」の「PTTディスプレイ」も参照ください)。

① グループ番号を設定する
② グループモードを使用することになります(中継機と同じグループ番号にあわせてください)。
③ 指定の中継機の使用が可能です。

DCSコードに切り替える

グループモードで、グループコード(38種類)が不足した時や、グループコードに替えて、104種類のDCSコード(4023～4754)を使用することができます。

● 中継機を使用するときは、DCSコードを使用することはできません。
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② EMGボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
③ DCSコード選択状態になり「OFF」が点灯します。▲または▼ボタンを押して、「4023～4754」の中から、希望のDCSコードを選択します。
④ PTT(送信ボタン)を押します。
DCSコードが設定され、グループコードの代わりに「dc」が表示されます。
PTT(送信ボタン)以外に、電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切っても、DCSコードの設定は解除されません。
⑤ 上記の「通話モードの切り替えかた」のグループモードと同様に通話することができます。
EMGボタンを長く押すと、番号を戻したり相手とコール音がピピッ・・・と、呼び出すことができます。

緊急を知らせたい

緊急アラーム音で緊急を知らせたり、あらかじめ決めてあった緊急送受信用のチャンネル(メモリーチャンネル)に自動的に切り替えることができます。

● 緊急アラーム音を鳴らすには、あらかじめ「緊急アラーム音」を設定する必要があります。
● アラーム音を鳴らすには、あらかじめ「緊急アラーム音」を設定する必要があります。
● アラーム音を鳴らすには、あらかじめ「緊急アラーム音」を設定する必要があります。

メモリーチャンネルの設定方法

① ▲または▼ボタンを押して、メモリーチャンネルにしたいチャンネル番号にあわせ、MODEボタンを長押し(約1秒)して電源を切ります。
② MODEボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
③ MODEボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
④ 設定したいチャンネル番号の「ch」をディスプレイに表示させ、▲または▼ボタンを押して、「ch」を指定します。
⑤ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑥ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑦ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑧ MEMOボタンを押して、設定が完了します。

メモリーチャンネルの解除方法

① ▲または▼ボタンを押して、メモリーチャンネルにしたいチャンネル番号にあわせ、MODEボタンを長押し(約1秒)して電源を切ります。
② MODEボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
③ MODEボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
④ 設定したいチャンネル番号の「ch」をディスプレイに表示させ、▲または▼ボタンを押して、「ch」を指定します。
⑤ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑥ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑦ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑧ MEMOボタンを押して、設定が完了します。

通話距離をのばすには

送信中にビルなどの障害物がある場合や、相手と距離が離れた場合は、電波が届かずに通話できないときは、中継機「RP8」を中継点に設置することにより、交差範囲が広がります。「RP8」の設置については、お問い合わせいただいた販売店または、当社国内営業部にお問い合わせください。

●メモリーチャンネルを設定した「メモリーチャンネルの設定方法」参照した後、下記の中継機用チャンネルの追加方法、解除を行った場合は、「RP8」の設置が「RP8」から「RP8」になり、メモリーチャンネルが消失します。再度メモリーチャンネルを設定してください。

●設定の方法
下記の操作を行うと、中継機用のチャンネル(合計27チャンネル)が追加されます。
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② MODEボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
中継機用のチャンネルが追加されます。
③ ▲または▼ボタンを押すたびに、チャンネル番号が変わります

●設定を解除するには
① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
② ▼ボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

●通話のしかた
▲または▼ボタンを押して、中継機用チャンネルの中で「RP8」と同じチャンネル番号にあわせ、MODEボタンを長押し(約1秒)して電源を切り、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。下記に設定したチャンネルにあわせてください。

通話可能が常時チェックしたい

グループモード時に、あらかじめ下記の設定を行っておくと、「通話できる範囲内か」または「電源を切っていないか」、常時チェックが行われます。

① MODEボタンを押してグループモードにします。
中継機で決められたグループ番号とチャンネル番号に設定されている状態です。
② 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
③ MODEボタンを長押し(約1秒)して、電源を入れます。
④ MODEボタンを長押し(約1秒)して、「off」を選択します。
⑤ ▲または▼ボタンを押して「01」を選択します。
⑥ 通話(PTT)スイッチを押します。
セットメニューの設定が終了し、ディスプレイに「on」と「グループ番号」が表示されます。
⑦ 左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

状況	電子音	表示
● 相手と通話できる範囲内 ● 相手の電源が入っている	電子音が鳴った後「m」とグループ番号が交互に点灯する	9m 9-01
● 相手と通話できない場所にいる ● 相手の電源が切れている	電子音が鳴った後「off」とグループ番号が交互に点灯する	9off 9-01

● 同じチャンネルで同じコードナンバーが他の機器に使われているときは、「グループモードの設定」を参照し、中継機でのグループ番号を切り替えてください。

● 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している場合は、相手と聞こえませんが変更は可能です。通話できません。

緊急を知らせたい

緊急アラーム音で緊急を知らせたり、あらかじめ決めてあった緊急送受信用のチャンネル(メモリーチャンネル)に自動的に切り替えることができます。

● 緊急アラーム音を鳴らすには、あらかじめ「緊急アラーム音」を設定する必要があります。
● アラーム音を鳴らすには、あらかじめ「緊急アラーム音」を設定する必要があります。
● アラーム音を鳴らすには、あらかじめ「緊急アラーム音」を設定する必要があります。

メモリーチャンネルの解除方法

① ▲または▼ボタンを押して、メモリーチャンネルにしたいチャンネル番号にあわせ、MODEボタンを長押し(約1秒)して電源を切ります。
② MODEボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
③ MODEボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
④ 設定したいチャンネル番号の「ch」をディスプレイに表示させ、▲または▼ボタンを押して、「ch」を指定します。
⑤ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑥ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑦ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑧ MEMOボタンを押して、設定が完了します。

メモリーチャンネルの解除方法

① ▲または▼ボタンを押して、メモリーチャンネルにしたいチャンネル番号にあわせ、MODEボタンを長押し(約1秒)して電源を切ります。
② MODEボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
③ MODEボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
④ 設定したいチャンネル番号の「ch」をディスプレイに表示させ、▲または▼ボタンを押して、「ch」を指定します。
⑤ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑥ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑦ MEMOボタンを押して、設定が完了します。
⑧ MEMOボタンを押して、設定が完了します。